

キラリ わたしの学校区

特別号 コミュニティ・スクール

～広がる学校ボランティアの輪～

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

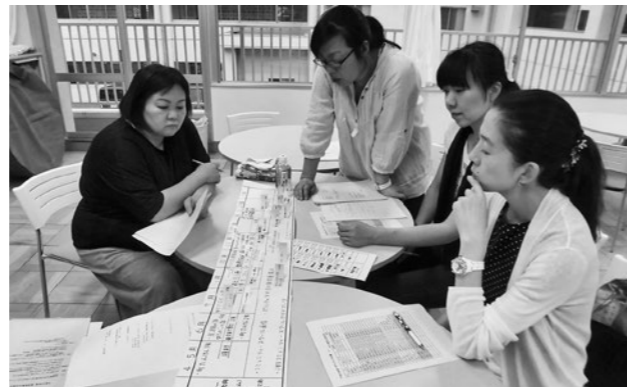
小野連携型小中一貫校では、小野地区の実態に合ったコミュニティ・スクールの組織づくりと運営を進めています。コミュニティ・スクールを進めるためには、より多くの地域の皆さんが学校に足を運び、地域と学校が協働して子どもを育てる雰囲気づくりを進めることが大切です。そのため小野地区では、保護者や地域で組織された地域学校協働本部を基盤とし、学校ボランティアの充実に取り組んでいます。

これまでも、登下校の見守りや絵本の読み聞かせなどで地域の皆さんに協力していただきましたが、今年度からは、小野小学校では、図工・生活科の授業やクラブ活動などに、小野中学校では美術の授業や夏休みの補充学習などに地域の皆さんや群馬医療福祉大学の学生が参加し、より充実した活動が行われています。

現在、学校ボランティアの中から地域と学校をつ

小野中校区

問い合わせ 学校教育課(☎08212)
小野中学校(☎240104)



↑コーディネーター会議の様子。「できる人が、できるときに、できること」を合い言葉にそれぞれの立場で活躍しています。

なぐ調整役として6人のコーディネーターが活動しています。この6人が学校のニーズに応じて学校ボランティアの募集を行ったり、授業に協力してくれる学校ボランティアの日程調整を行ったりしています。また、小野小・中学校で発行している学校だよりの『地域情報コーナー』の執筆を担当し、学校ボランティアの活躍や地域の行事などの様子を積極的に発信する主体的な取り組みも始まっています。

今後、学校ボランティアの輪をさらに広げ、小野地区の皆さんと小野連携型小中一貫校が協働して、目指す子ども像である「夢に向かってかがやく子」の育成と、笑顔・やる気・希望に満ちたコミュニティづくりに取り組んでいきたいと考えています。

人権を考える

問い合わせ 生涯学習課(☎26888)
福祉課(☎402384)



～同和問題～

同和問題は、歴史的発展の過程で作られた身分制度がもたらした結果であり、時代が変わっても解消されず、今に至っています。

心理的差別と実態的差別

心理的差別とは、誤った理解が根底にあり人々の観念や意識の内に潜在する差別です。普段の生活では表に出てきませんが、非合理的な偏見や嫌悪の感情のために、結婚が破談になったり、就職を取り消されたりすることが起きています。

実態的差別とは、生活実態に具体的に現れた差別です。劣悪な生活環境の中で、教育を受ける機会が狭められたり、職業選択の自由が保障されなかったりする状況があります。

差別への対応

昭和44年の同和对策事業特別措置法の制定から30年以上にわたる経済的な対策を中心

とした環境改善の取り組みにより、生活水準が改善され、一定の成果が見られました。長年にわたる同和对策事業や人権教育の成果から、若い人を中心に差別が少なくなってきたため、「同和問題はそのままにしておけば次第に無くなる」といった、いわゆる「寝た子を起すな」と主張する人も多く見られます。しかし心理的な差別は根深く、大きな人生の節目などでは、いまだに差別的な言動や問題が後を絶ちません。

また不正に戸籍を取得して対象地域出身者の調査をして差別的な言動を行ったり、昔の同和地区の情報をインターネット上で公表して拡散されたり、誹謗中傷したりすることが起こり、間違った知識を広めようとするケースが多く見られます。

同和問題は正しく教えて伝えていかないと、知らないで育った子どもたちや若い人たちが、この問題をうわさや言い伝えのような形で知ることになり、誤解や新たな差別を生む危険性が高くなります。

部落差別解消推進法

こうした状況の中、平成28年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。「部落差別は存在する」と初めて法律上で明記され、「部落差別のない社会を実現することを目的とする」とうたわれています。国や地方公共団体の部落差別解消に向けた責務が明示され、必要な教育や啓発を行うことが求められています。この法律の趣旨を国民一人一人が理解できるように啓発の努力を続けていくことが必要です。

本市の取り組み

本市では、今後も人権問題の解決に向けた取り組みとして、人権講演会、人権研修会、集会所教室、いじめ問題解決に向けた教育懇談会、広報紙による啓発活動などを進めていきます。また人権教育推進指定校事業やいじめ問題解決に向けた子ども会議などを通して、人権教育を充実させていきます。

本の出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

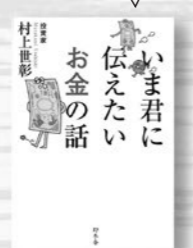
開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 図書館(☎1669)

一緒にお墓に入ろう



著者▷江上 剛
母が死んだ…。妻は「一緒の墓には入りたくない」と言う。順風満帆だったエリートサラリーマンに人生の終盤で大どんでん返し!「墓じまい」をテーマに描く、大人の人生ドラマ。

いま君に伝えたいお金の話



著者▷村上 世彰
お金のプロが、お金で苦労しない人生を送るための考え方を公開。「お金ってなんだろう」から、これからの働き方、お金の付き合い方、とっておきの使い方までをつづる。

だいじょうぶだよ、モリス



著者▷カール＝ヨハン・エリーノ
1週間の物語に、困りがちな場面を網羅し、それを解決する言葉掛けを具体例で解説。子育ての「こんなとき、どうすればいいの?」をたった1冊で解決してくれる絵本。